

**「第4次大阪市食育推進計画」(案)の
パブリックコメントに寄せられた意見に対する本市の考え方**

	ご意見の要旨	本市の考え方	計画の修正
1	<p>若い時期の食習慣の見直しが次世代の健康につながることをもっとアピールすることを期待する。</p> <p>例えば、母子健康手帳発行時等の機会を利用し妊娠中の栄養状態の大切さを伝えてはどうか。</p>	<p>早くからよりよい食習慣を身につけることは生涯にわたり健康で過ごすために重要であり、引き続き、若い世代に対して、各種イベントやSNSを通じた啓発を行ってまいります。</p> <p>また、ライフステージに応じた食育として、胎児期においては、引き続き、妊婦教室等を通じて妊娠中の栄養、食生活に関する啓発を行ってまいります。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、あらためて明記するため、次のとおり修正(下線部)します。</p> <p>【計画P15「胎児期・乳幼児期」の項】</p> <p>＜修正前＞ 「特に乳児期においては、子どもの健康維持、成長・発達を促し、保護者の不安を解消できるよう、各区保健福祉センターでの「離乳食講習会」等により支援を行います。また、…」</p> <p>＜修正後＞ 「また、子どもの健康維持、成長・発達を促し、保護者の不安を解消できるよう、各区保健福祉センターでの「妊婦教室」や「離乳食講習会」等により支援を行います。さらに、…」</p>	有
2	<p>第3次大阪市食育推進計画の目標達成率は31.58%で、計画自体が実体に即したものとなっていなかったと考える。その原因は、以下の点の考慮が欠けていたからだと思う。</p> <p>1. 単身生活者の増加 2. レトルト食品やサプリメントの使用増加 3. 一昨年来の食料品の軒並みの値上げ</p> <p>第4次計画作成に当たっては、実情に沿った計画にして欲しい。</p>	<p>日々の生活習慣、特に食生活については、ご指摘の要因を含め様々な生活環境や社会状況に影響されることから、適正な食生活の習慣化に向け、各種健康講座等の啓発の場において、引き続き、それらを考慮した食育の推進を行ってまいります。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、あらためて明記するため、次のとおり修正(下線部)します。</p> <p>【計画P13「すすめる」の項】</p> <p>＜修正前＞ 「啓発活動においてはデジタル化に対応した食育を積極的に進めます。」</p> <p>＜修正後＞ 「啓発活動においては生活状況等を踏まえるとともに、デジタル化に対応した食育を積極的に進めます。」</p>	有
3	<p>基本テーマに「減糖(分)しよう」も入れては。</p>	<p>糖類については、国の「食事摂取基準」においても摂取量の基準が設定されていない現状もあり、基本テーマにはあげておりませんが、肥満予防等の観点から過剰摂取についての啓発を行ってまいります。</p>	無
4	<p>給食を通して、地場産物や「大阪市なにわの伝統野菜」の利用を充実させ、大阪の食文化を伝え、地元農家を下支えして欲しい。</p> <p>また、有機農産物の利用を増やして、子どもたちに安全でおいしい給食の充実を図って欲しい。</p>	<p>本市の学校給食は喫食数(約18万食)が多く、価格面や大量の食材の調達可否を考慮したうえで使用食材を決定しています。全市統一献立で提供しているため提供が困難な事情がありますが、本市としても地場産物や「大阪市なにわの伝統野菜」の利用の充実に努めたいと考えております。また有機農産物の利用についても同様に検討してまいります。</p> <p>新鮮な農産物の供給をはじめとする大阪市の都市農業の魅力をプロモーション動画やイベント等で積極的に発信しております。農業者と飲食店のマッチングイベントを開催する等、農業者が農業経営を続けていけるよう支援しております。</p>	無